

レジメンcode:	C16-44
適応がん種:	胃癌
レジメン名:	Nivolumab+sLV5-FU2-IF
間隔:	2週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	オブジーボ	240	mg/body	点滴(30分)	d1
I-LV	レボホリナート	200	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	400	mg/m ²	点滴(全開)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	2400	mg/m ²	点滴(46時間)	d1

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A	ポート確認	
2) 生食	50ml	1 本	ルート確保	
3) オプジーボ		240 mg/body		
生食	100ml	1 本	(フィルター必須)	
	主管①	点滴	30分	30分以上かけて投与すること
4) 生食	50ml	1 本		
	主管②	点滴	15分	フラッシュ用
5) グラニセトロン	3mg	1 A		
デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	主管③	点滴	15分	
6) レボホリナート		200 mg/m ²		
ブドウ糖液5%	250ml	1 袋		
	主管④	点滴	2時間	
7) フルオロウラシル(5-FU)		400 mg/m ²	【ケモセーフ使用】	
ブドウ糖液5%	50ml	1 本		
	主管⑤	点滴	全開	
8) 生食	50ml	1 本		
	主管⑥	フラッシュ		
9) フルオロウラシル(5-FU)		2400 mg/m ²		
生食	100ml	総液量140ml になるように調製		
	主管⑦	点滴	46時間	(インフューザー)

〈所要時間 ー 〉

次ページあり

day3

1) 生食

10 ml

ルートロック

〈所要時間 ー 〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【CheckMate-649 (ONO-4538-44/CA209649) 試験 Lancet.2021;398:2-40 (PMID:34102137)】

【適応】

化学療法歴のないHER2陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌または食道胃接合部癌

PD-L1発現率(CPS)により異なる傾向が示唆されている

***甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。**

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回) (免疫チェックポイント2回目～)

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。

*希釈後の最終濃度0.35mg/ml以上にする

*他剤との混注はしない。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。